

球技専用スタジアム コンセプト

感動、賑わい、誇りを創出する Emotional Stadium

観客と競技者の感動と熱狂を喚起するスタジアム

35,000人の観客を収容するサッカー(球技)専用スタジアム化にふさわしい、良好な観戦環境と競技者がベストなパフォーマンスを発揮できる競技環境の提供、観客と競技者の一体感を生み出すスタンド構成により、感動や熱狂を喚起する「魅せる」スタジアムとします。

人々の賑わいと親しみを醸成する公園に開かれたスタジアム

これまで親しまれてきた公園に開かれたメインスタンドの考え方を継承し、メインスタンドとの接続部分では芝生広場や園路と連携した開かれたゲートを計画し、公園とつながるデッキや屋上庭園、日常時から利用できる施設を設け、常に賑わいが溢れ、地域のシンボルとなる「親しまれる」スタジアムとします。

クラブ、地域、人々の誇りを共に育むスタジアム

観戦・競技環境の向上、川崎らしさや魅力の発信、日常時からの様々な利用により、「クラブ、地域、人々」が未来に向かって成長・発展することを促し、共に誇りを「育む」スタジアムとします。



※パースは提案時のものであり、図面と異なる箇所があります。
※パースはイメージであり、今後各種検討により変更の可能性があります。



観客と競技者の一体感を生み出すスタジアム



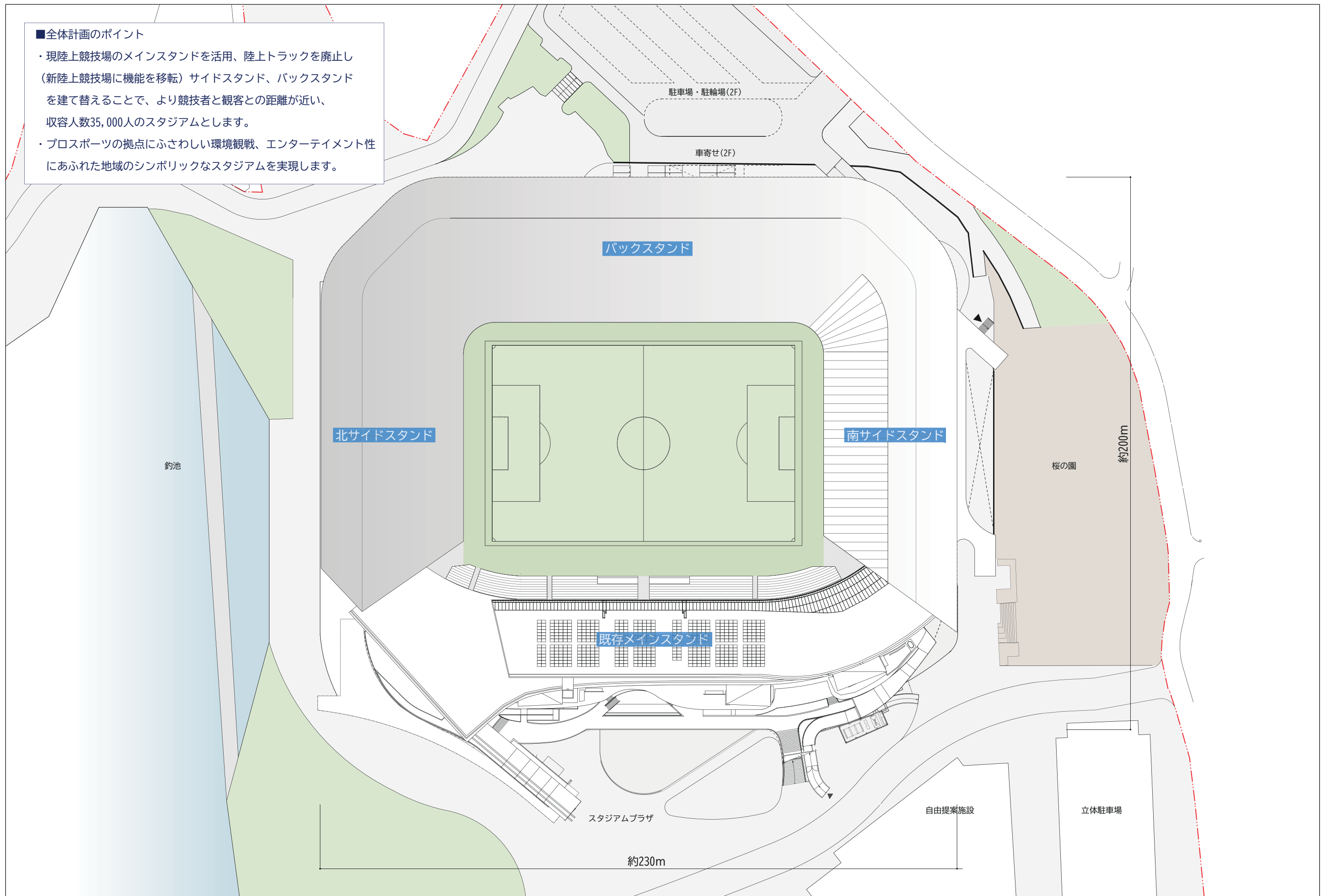
©川崎フロンターレ



釣池、桜の園等、公園の豊かな環境に開かれたスタジアム

■全体計画のポイント

- ・現陸上競技場のメインスタンドを活用、陸上トラックを廃止し（新陸上競技場に機能を移転）サイドスタンド、バックスタンドを建て替えることで、より競技者と観客との距離が近い、収容人数35,000人のスタジアムとします。
- ・プロスポーツの拠点にふさわしい環境観戦、エンターテインメント性にあふれた地域のシンボリックなスタジアムを実現します。



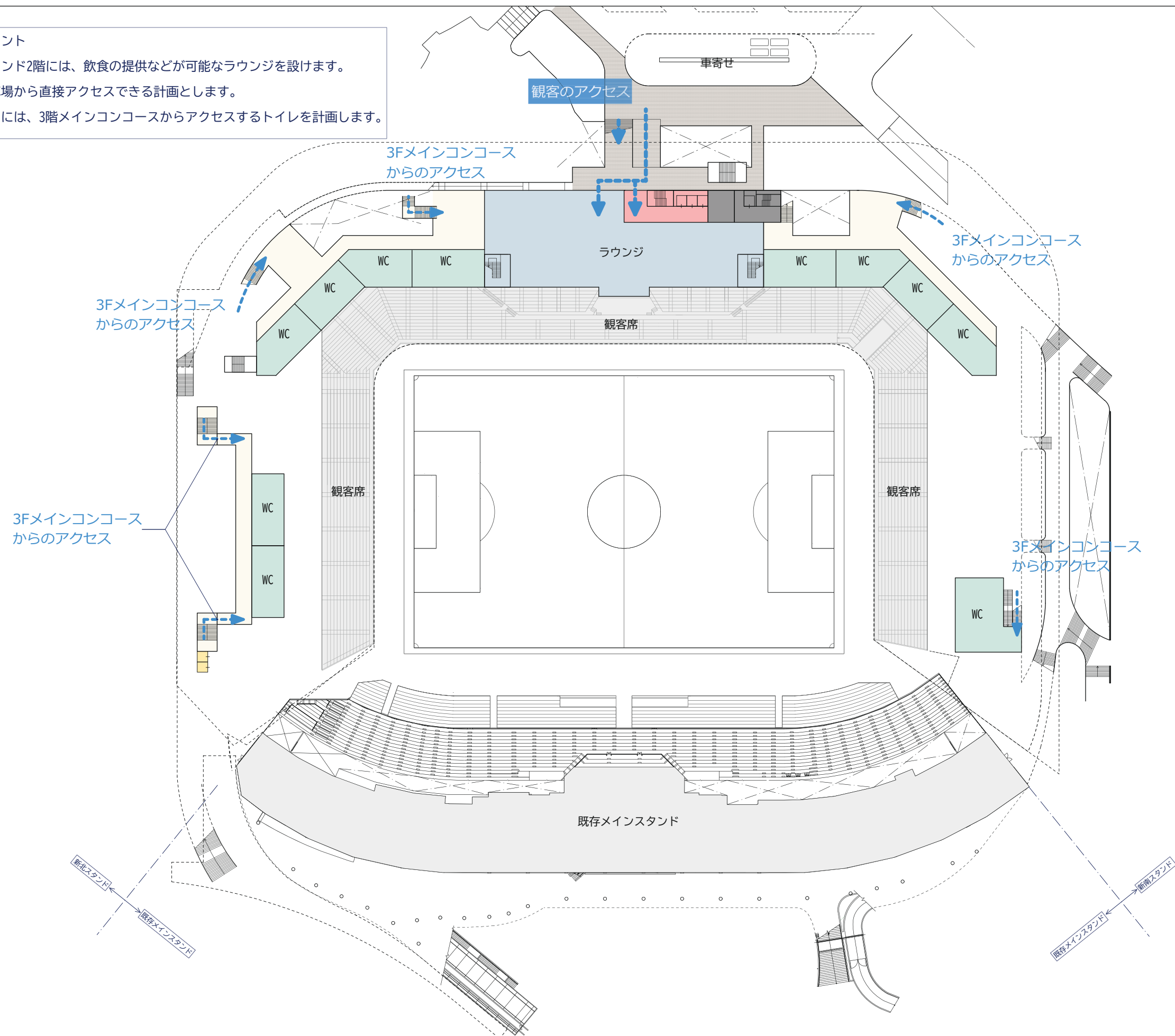
■計画のポイント

- ・既存メインスタンドと、新築の南北サイドスタンドとの接続部分を観客の新たなアクセスゲートとします。
- ・北サイドスタンドのピロティ部分、南サイドスタンドのデッキ下に雨に濡れない待機列スペースを確保します。
- ・バックスタンド、南サイドスタンドのピロティ部分には駐車場を計画します。



■計画のポイント

- ・バックスタンド2階には、飲食の提供などが可能なラウンジを設けます。
- ・東側の駐車場から直接アクセスできる計画とします。
- ・各スタンドには、3階メインコンコースからアクセスするトイレを計画します。



■計画のポイント

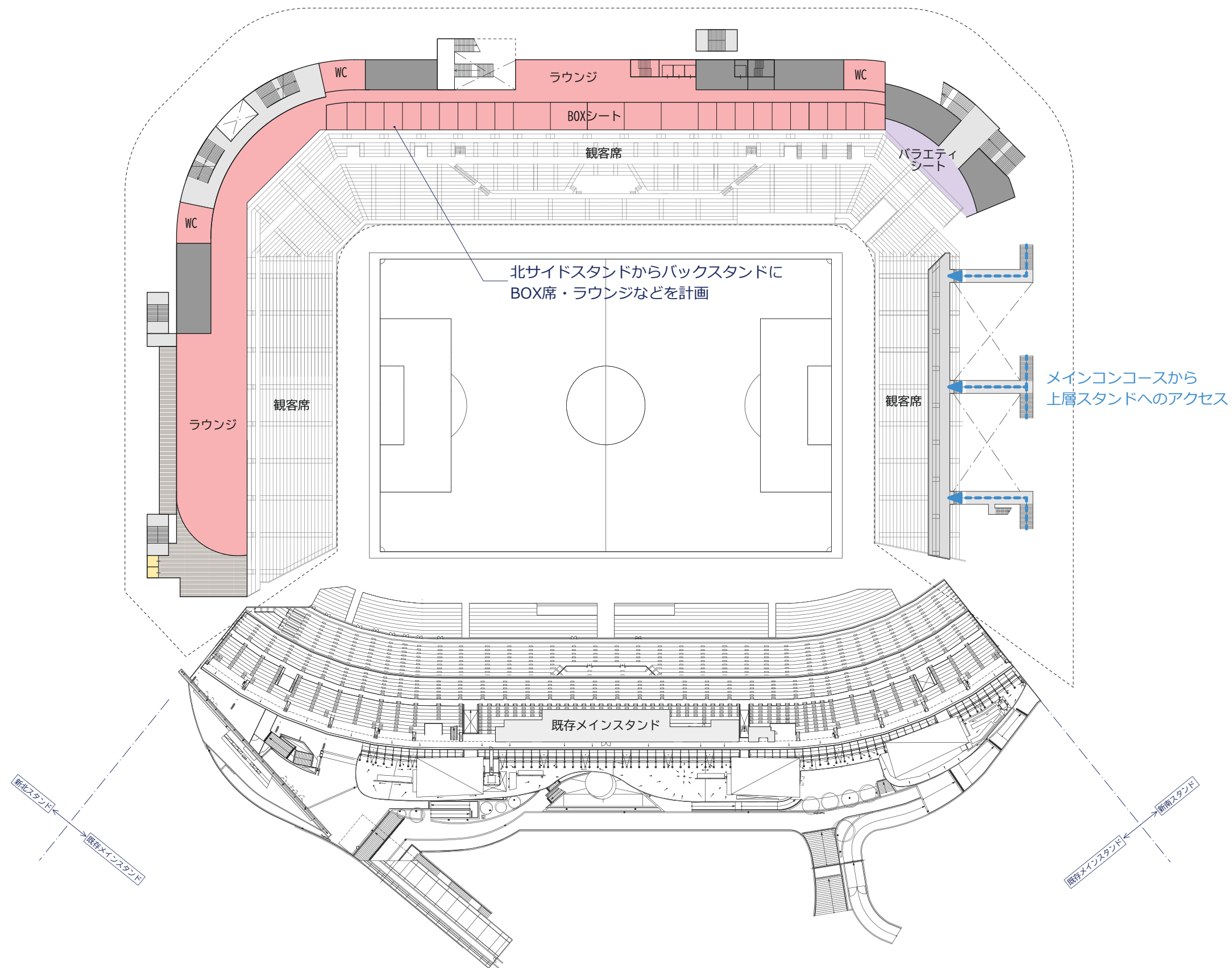
- ・既存メインスタンドと同じレベルに新サイド・バックスタンドのコンコースを設け、同じレベルでの回遊性が可能な計画とします。
- ・コンコース内には売店などの諸室をバランスよく配置します。
- ・北側の釣池、南側の桜の園など、公園内の豊かな環境に対して開かれたデッキを南北のサイドスタンドに設けます。



既存メインスタンドと同じレベルに新サイドスタンド・バックスタンドのメインコンコースを設け、回遊性の高い計画とします。

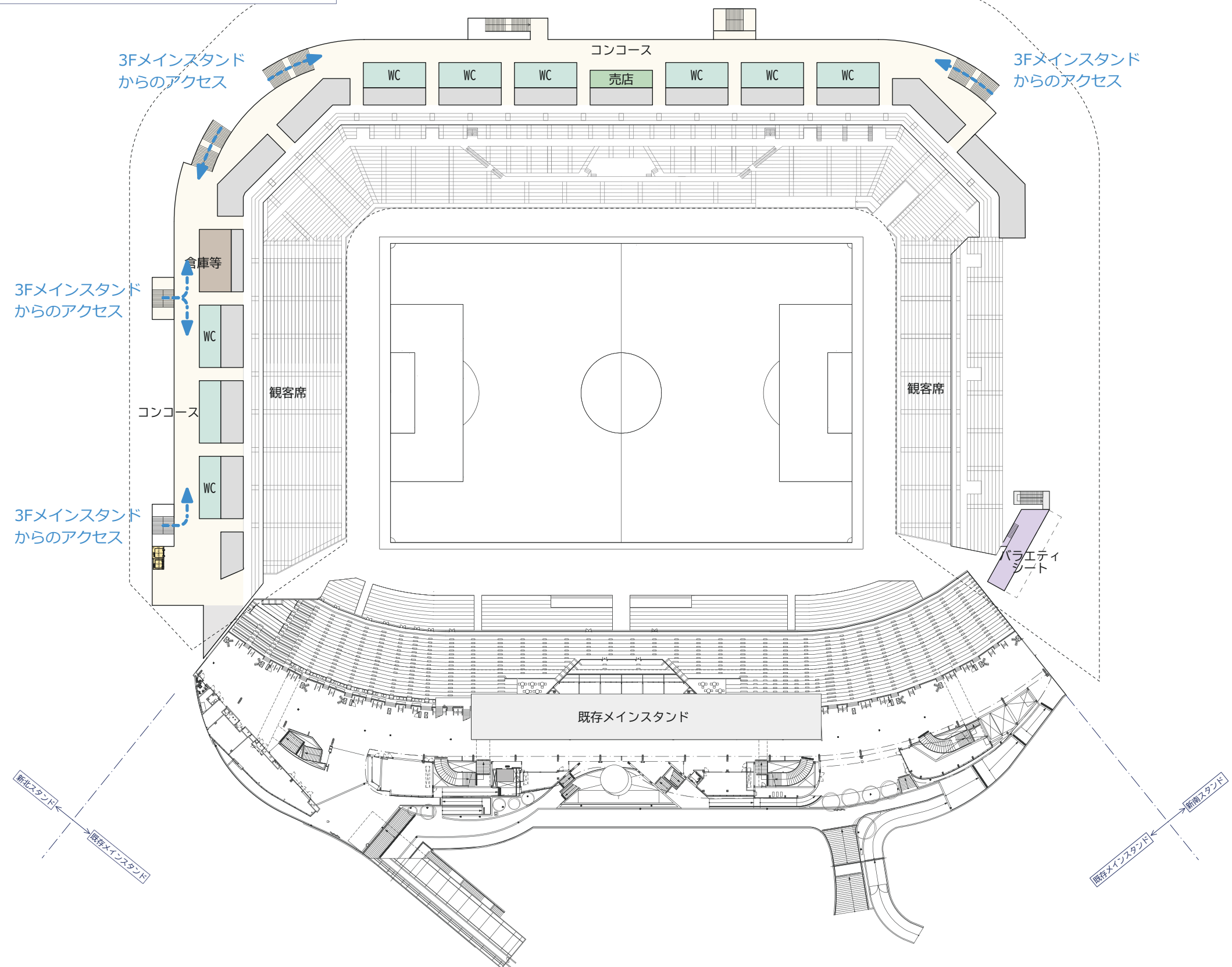
■計画のポイント

- ・4階は、飲食提供など付加価値の高いサービスを提供するエリアとします。
- ・個室から試合を観戦できるBOXシートや、試合中・試合前後も利用できるラウンジを計画します。



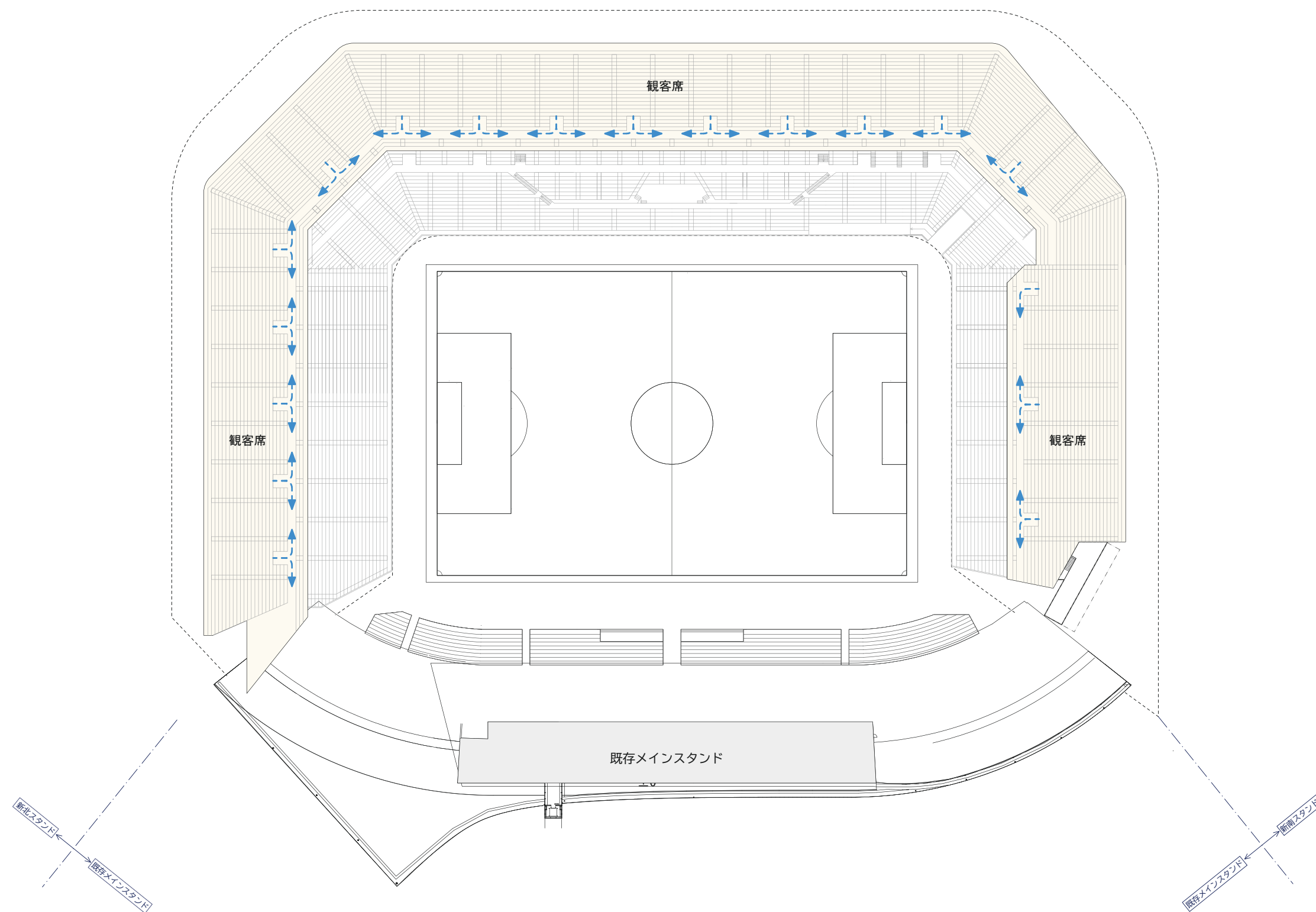
■計画のポイント

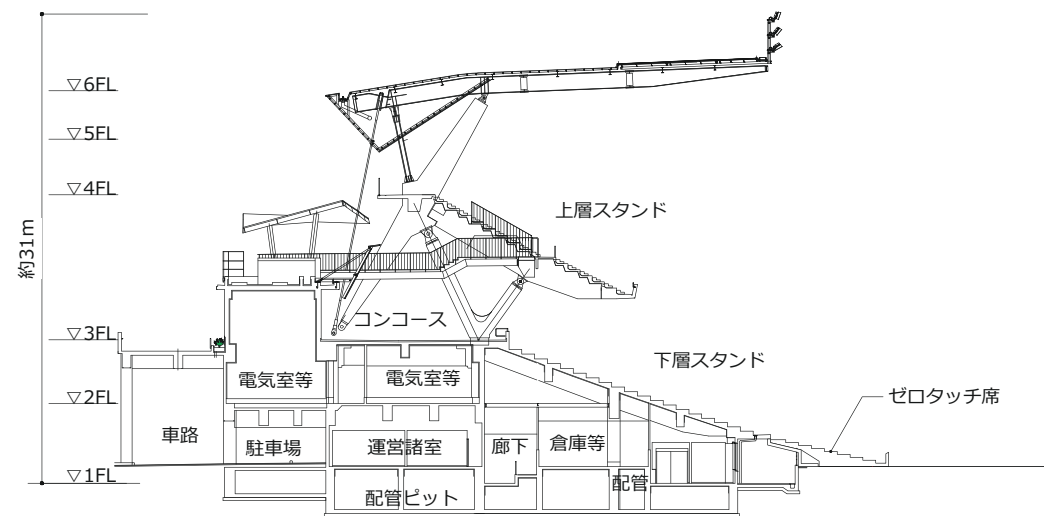
- ・北サイドスタンドからバックスタンドには、上層スタンドへアクセスするコンコースを設けます。(南サイドスタンドの上層スタンドへは、3階メインコンコースからアクセス)
- ・コンコースにWC、売店をバランス良く配置します。



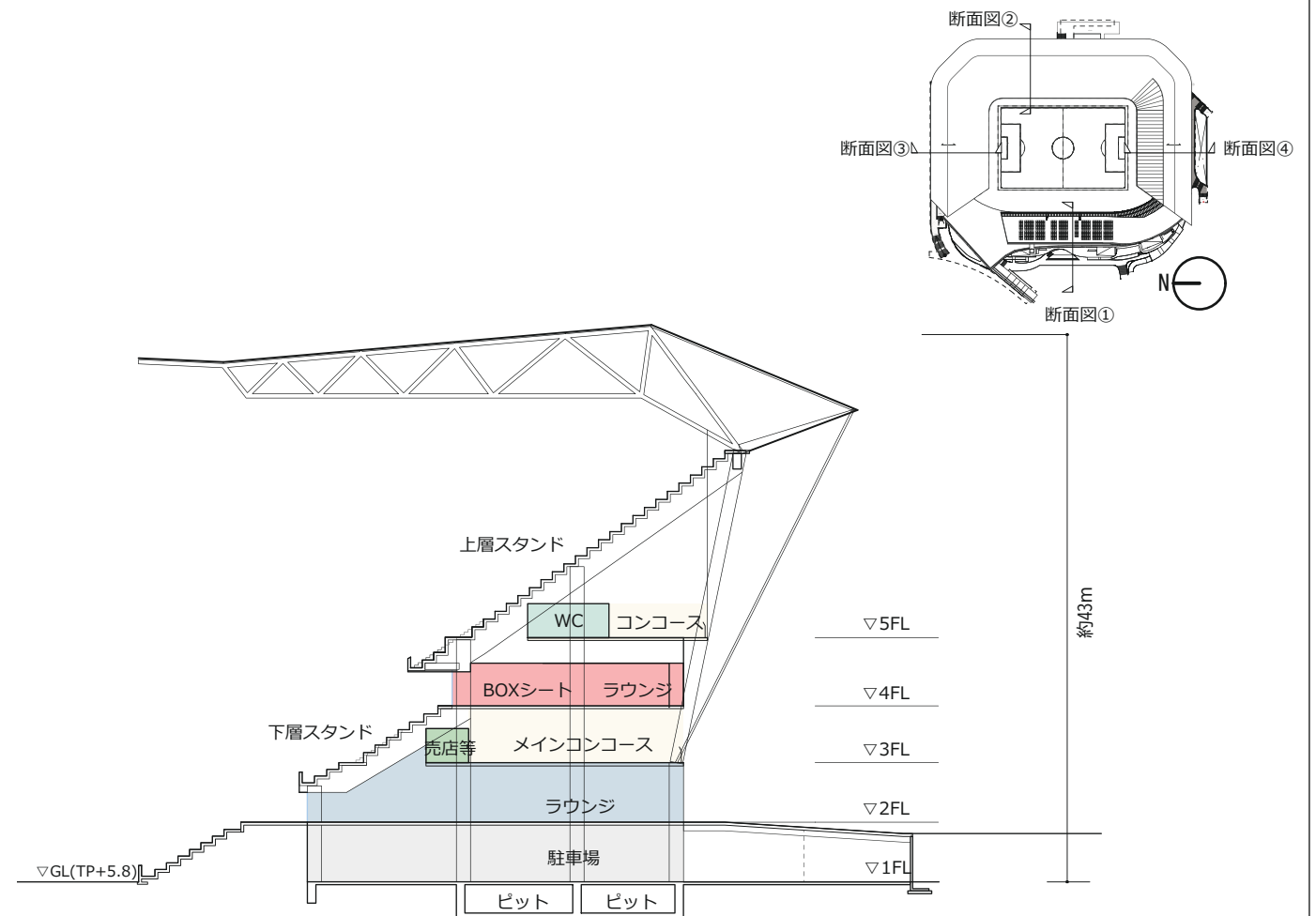
■計画のポイント

- ・6階は上層スタンドフロアとします。
- ・5階コンコースよりアクセスし、横通路を介して往来が可能な計画とします。

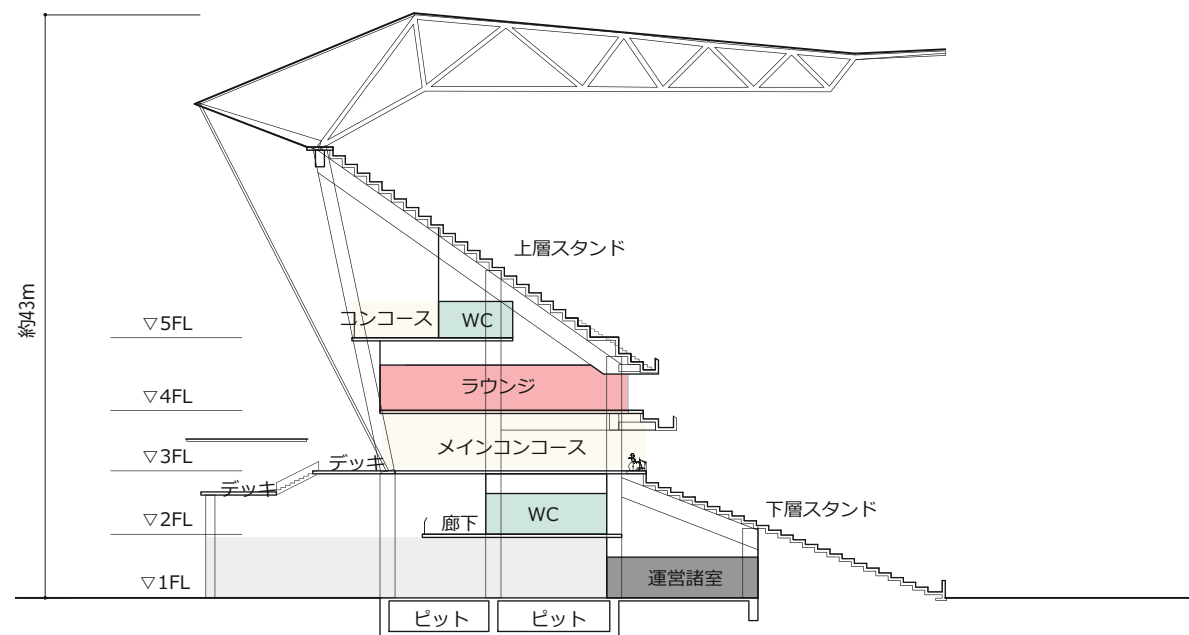




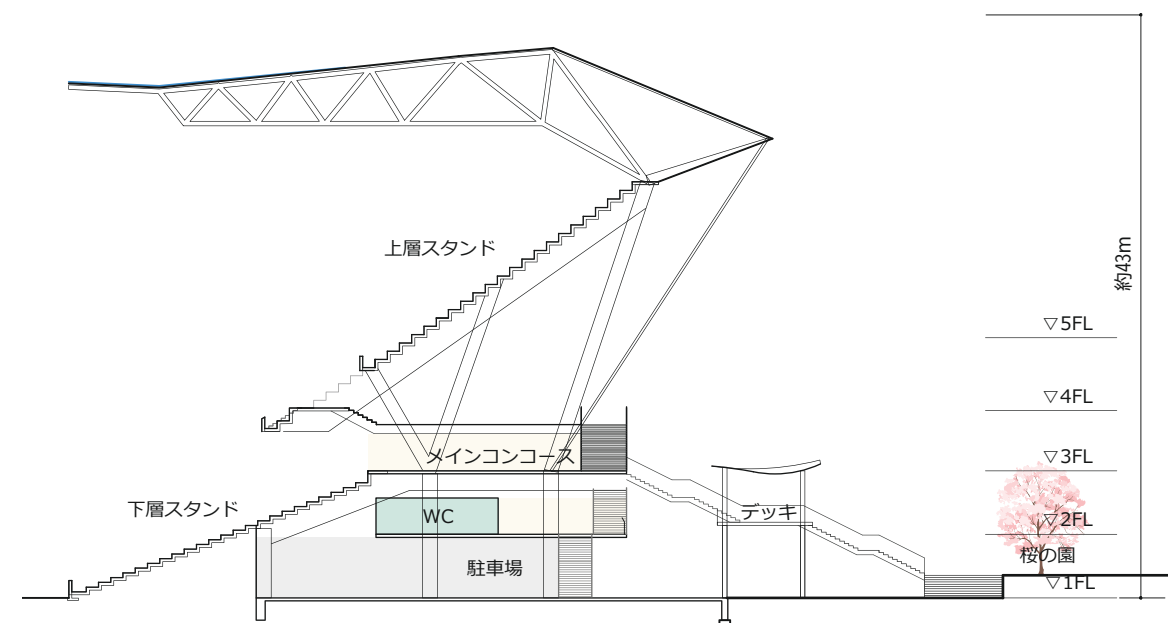
既存メインスタンド(断面図①)



バックスタンド(断面図②)



北側サイドスタンド(断面図③)



南側サイドスタンド(断面図④)